

第50期 株主通信

2018年5月1日 ▶ 2019年4月30日

Financial Report

株式会社アインホールディングス

ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、当社グループに温かいご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。さて、第50期（2018年5月1日から2019年4月30日まで）の決算が終了いたしましたので、ここに事業の概況につきましてご報告申し上げます。

わが国の経済は、個人消費に持ち直しの動きがみられ、企業収益や雇用情勢の改善を背景として、景気は緩やかに回復しております。

このような経済情勢のもと、当社グループは、調剤薬局の新規出店及びM&Aによる事業拡大をはじめ、コスメ&ドラッグストア事業を推進し、グループの事業規模及び収益拡大に努めてまいりました。

また、働き方改革推進の一環として、社員ごとのライフスタイルに合わせた働きやすい環境整備を目的に、所定労働時間の選択制導入を決定しており、2020年4月より運用を開始いたします。今後も、子育て、介護に限らず多様化するライフスタイルや個々の価値観に応じた働き方を実現できる体制を整えるとともに、企業価値向上に努めてまいります。



代表取締役社長

大谷 喜一



Q 今期の業績はいかがでしたか。

新規出店及び前期出店が寄与し、売上高は前期比2.7%の増加となり、経常利益は診療報酬改定等の影響を受け、前期比17.3%の減少となりました。

ファーマシー事業におきましては、M&Aを含む新規出店及び前期出店が寄与し、売上高は前期比2.7%の増加となったものの、セグメント利益は診療報酬改定の影響及び出店時期の遅れにより、前期比19.1%の減少となりました。リテール事業におきましては、既存店の伸長及び前期出店の寄与により、売上高は前期比4.5%の増加、セグメント利益は既存店の伸長に加えコストの低減により、前期比48.0%の増加となりました。その結果、連結の売上高は、2,755億9千6百万円（前期比2.7%増）となり、経常利益は166億3千7百万円（同17.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は90億2千9百万円（同14.6%減）となりました。また、グループ店舗総数はM&Aを含めた164店舗の出店と、店舗運営の見直しによる55店舗の閉店・譲渡により、1,186店舗（同109店舗増）（※）となりました。

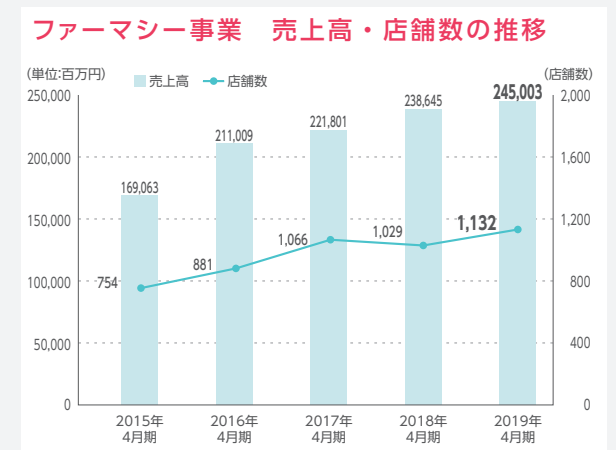
（※）2019年4月期末時点



Q ファーマシー事業の展開についてどのようにお考えですか。

患者さまが求める、より質の高い調剤薬局を展開するため、「かかりつけ薬剤師・薬局」としての機能強化、また人材育成に注力して取り組んでまいります。

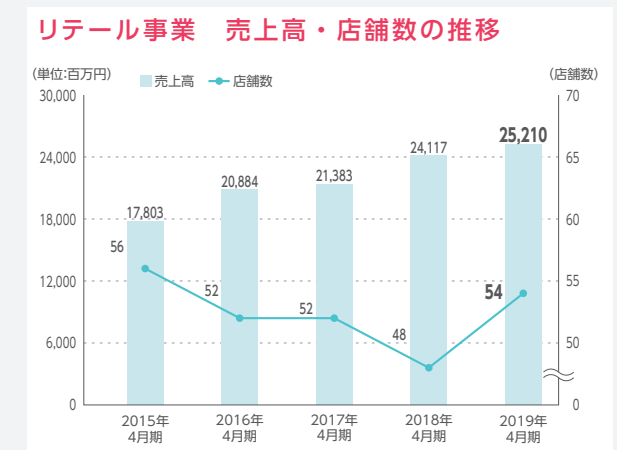
「かかりつけ薬剤師・薬局」としての機能をより強化すべく、地域医療との連携、お薬手帳等を活用した薬剤に関する情報の一元的・継続的な把握とそれにもとづく薬学的管理・指導の強化及びジェネリック医薬品の使用を引き続き促進してまいります。また、医療業界での深刻な薬剤師不足問題に対しては、新卒採用に積極的に取り組み、かかりつけ薬剤師としての資質を向上させるべく教育研修を強化しております。営業開発においては、調剤薬局の新規出店及びM&Aを積極活用し、継続した事業規模の拡大を推進するとともに、店舗運営の見直しを進めてまいります。



Q リテール事業の展開についてどのようにお考えですか。

首都圏への継続的の出店に加え、都市圏における知名度向上施策により、事業拡大を目指してまいります。

同業間による同質化競争、業種間を超えた統合・再編による競争により、厳しい市場環境が続いているなか、コスメ&ドラッグストア「アインズ&トルペ」の首都圏への出店を継続的に実施するとともに、関西圏への出店を再開しております。加えて、既存店の改装及び関連商品を中心とするMD強化による集客力向上に努め、既存店売上高が前年を上回って推移するとともに、前期出店売上高が大きく寄与しております。また、「リップス&ヒップス」をはじめとするオリジナルブランドの積極的な展開と、仕入れの見直しを継続し、さらなる収益の拡大を目指してまいります。





ファーマシー事業 Dispensing Pharmacy Business

2018年4月の調剤報酬改定では、対物業務から対人業務への構造的な転換を進めることを目的として、かかりつけ薬剤師・薬局の評価が推進される内容となりました。当社グループでは、地域医療連携や在宅医療、健康サポート、高度医療等、患者さまに選ばれる、より質の高い薬局機能の発揮を目指してまいります。

また、医療業界における薬剤師不足の環境下、新卒採用に積極的に取り組むとともに、かかりつけ薬剤師としての資質を向上させるべく教育研修を強化しております。

2019年4月期はM&Aを含め157店舗を出店し、また店舗運営の効率化を目的に54店舗を閉店・譲渡した結果、調剤薬局総数は1,132店舗となり、売上高は2,450億3百万円（前期比2.7%増）、セグメント利益は183億3千1百万円（同19.1%減）と増収減益となりました。

topics

アイン薬局 旭川医大店 アイン薬局 東大店オープン

2018年12月、旭川医科大学病院（北海道旭川市）の敷地内に「アイン薬局 旭川医大店」が、2019年4月には東京大学医学部附属病院（東京都文京区）の敷地内に「アイン薬局 東大店」がオープンいたしました。大学病院の敷地内に立地するため、病院からのアクセス等利便性がよく、すでに多くの患者さまにご利用いただいております。高度な薬学管理を推進し、また地域のハブ薬局として、医療機関と広くネットワークをつなぎ、地域の皆さまの健康をサポートしてまいります。



アイン薬局 旭川医大店



アイン薬局 東大店

全国初となる国家戦略特区における オンライン服薬指導を実施

2018年6月の国家戦略特別区域諮問会議（内閣府）において、国家戦略特区の一部地域にて、オンライン服薬指導が認められました。そして同年7月、アイン薬局 稲沢店（愛知県稲沢市）が全国初となるオンライン服薬指導を実施いたしました。

医療分野でのIoT化が進むなか、今後も患者さまのさらなる利便性の向上と上質な医療の提供への取り組みを進めてまいります。



薬局イメージ



患者さまご自宅イメージ

スムーズな受け渡しへ アインお薬手帳アプリがリニューアル

2019年7月より、アインお薬手帳アプリがリニューアルいたしました。機能を一新し、処方箋の受け渡しだけでなく、お薬の管理も簡単にご利用いただけるようになりました。

■アインお薬手帳アプリ 機能紹介（一部抜粋）

- 1 無料で使える！**
 スマホアプリならいつでもどこでも携帯できて安心！
 ・お薬のリスト管理
 ・服用アラーム
 ・QRコードでお薬データの取り込み
- 2 薬局へ行く前に！**
 処方せんをアプリで撮影、送信するだけでお薬の予約完了！
 かんたんな操作で処方せんを薬局へ送信することができます。これでお薬の予約は完了！
- 3 薬局で！**
 お薬が準備できたら、スマホにお知らせが届く！
 薬局からスマホにお知らせが届きます。待ち時間なくお薬を受け取ることができて、とっても便利！



Google Play、App Storeで

スマートフォンアプリ
アインお薬手帳

アインお薬手帳 Q を検索

または右のQRコードからご利用ください >>



Android™用

Android OSバージョン5.0以上



iPhone®用

iOSバージョン10.0以上

お薬手帳アプリのはじまり

2011年東日本大震災発生時、当社グループは薬剤師を現地へ派遣いたしました。患者データが消えてしまった病院をはじめ、自分の薬がわからない患者さま等で混乱のなか、お薬手帳を持っている方にはスムーズなサポートが可能でした。そこで万が一の時でも身につけていることが多い「携帯電話」と「お薬手帳」を掛け合わせたアプリの開発を進めました。





リテール事業 Cosmetic & Drug Store Business

「アインズ&トルペ」は、女性のためのトータルビューティショップとして、女性が1時間楽しめるお店「Enjoy 1 hour with us」をコンセプトに、札幌及び首都圏に展開しております。2019年4月には関西圏への出店も再開いたしました。加えて、オリジナルブランドの積極展開と、昨年実施した仕入れの見直しが続ぎ貢献し、2期連続となる黒字化を達成いたしました。

今期は、アインズ&トルペ 東池袋店（東京都豊島区）をはじめ、渋谷公園通り店（東京都渋谷区）、あべのHoop店（大阪市阿倍野区）、梅田ハップファイブ店（大阪市北区）を含む7店舗を出店し、リテール事業の店舗総数は54店舗となりました。その結果、売上高は252億1千万円（前期比4.5%増）、セグメント利益は9億7千2百万円（同48.0%増）となりました。

topics

アインズ&トルペ あべのHoop店 アインズ&トルペ 梅田ハップファイブ店オープン

2019年4月、大阪 天王寺駅から徒歩2分の商業施設「Hoop」の2Fに「アインズ&トルペ あべのHoop店」、梅田駅から徒歩3分の商業施設「HEP FIVE」に「アインズ&トルペ 梅田ハップファイブ店」をオープンし、関西圏への出店を再開いたしました。大阪中心部の利便性の高い立地への出店により、引き続き認知度の向上、ブランド力の強化を図ってまいります。



アインズ&トルペ あべのHoop店



アインズ&トルペ 梅田ハップファイブ店

アインズ&トルペ スマホアプリを導入いたします

2019年10月、スマートフォンアプリの導入を予定しております。

カードレスでポイントが貯められるほか、会員情報の変更、クーポン配信、購入履歴の確認等、さまざまな機能をアプリひとつで利用することができます。また、アプリ導入と同時に、ポイント付与対象商品についても、セール品を含めた全品に変更いたします。

2020年の春には、新たな取り組みとして購入履歴に合わせたサービスの提供を計画しております。

アインズ&トルペのお客さまに、より便利に、よりお得にご利用いただけるよう、今後も引き続きサービスの向上に努めてまいります。



イメージ画像



イメージ画像

オリジナルブランド 「リップス & ヒップス」 新商品「Clenz」シリーズのご紹介

「あなたが持っている女性らしさを最大限に引き出したい」
リップス&ヒップスは、そんな思いから生まれたブランドです。
2019年6月より「洗う」をテーマにした「Clenz」シリーズが新登場。
優しく香る精油ブランドで、心もからだも優しく洗い流します。



リペアシャンプーやリペアトリートメントのほか、ハンドソープやフェイスソープ等、「やさしく洗う」をテーマにしたラインナップをお届けいたします。

LIPS and HIPS

アイングループ企業CMの 放映を開始いたしました

企業ブランディングの一環として、両事業の企業CMの放映を開始いたしました。患者さま、お客さまをはじめ、当社グループに関わるすべての人に向けて、アイングループの未来への意志をメッセージにお伝えしてまいります。

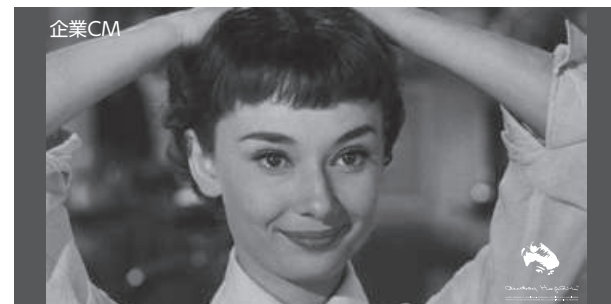
■ ファーマシー事業「アイングループ 時代を切り拓く薬局」篇



「薬局は変化の時を迎え、新しい役割が求められているなか、アイングループは時代を切り拓く使命を背負い、薬局の未来をはじめていく」というメッセージを込めております。

【全国（※一部地域を除く）】毎週月曜日21:54～「報道ステーション」（テレビ朝日系列）
【北海道限定】毎週日曜日8:00～「サンデーモーニング」（TBS系列）
（2019年7月31日現在）

■ リテール事業「アインズ&トルペ リニューアルオープン」篇



「いつでも、今日を一番美しく。人生&コスメ アインズ&トルペ」をキャッチに、オードリー・ヘプバーンをコミュニケーションアイコンとして起用しております。

コミュニケーションアイコン 「オードリー・ヘプバーン」

オードリー・ヘプバーンは、女優として、また晩年にはユニセフ（国際連合児童基金）親善大使として、その美しい生き方で、現在もなお世界を魅了し続ける存在です。

オードリーのような「時代を超えて輝きを放つ美しい生き方」と、当社グループの「社会に貢献し、すべての人々に寄り添う企業としての今後の在り方」を重ね合わせ、オードリー・ヘプバーンの言葉とともに実現してまいります。

ビジュアルと言葉をテーマとして、アインズ&トルペの広告やポスター等に反映されるほか、薬局等のグループ内においてご利用者さまに幅広く発信いたします。



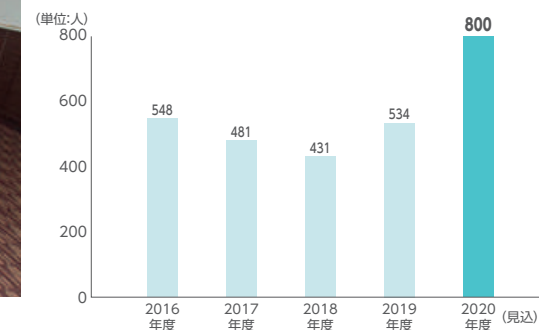
2019年度アイングループ入社式 534人の新入社員がアイングループの一員になりました

2019年4月、ホテルエミシア札幌にて入社式が行われ、534人の新入社員を迎えることができました。今後の事業拡大を見据え、来年は薬剤師400人を含む800人の採用を目指しております。



2019年度アイングループ入社式

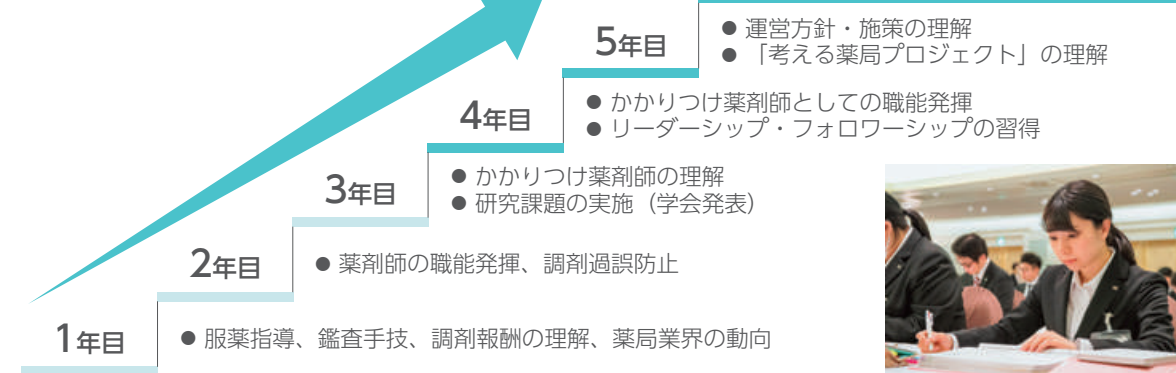
■ 新入社員推移



アイングループの研修制度

「社会人」「企業人」「医療人」としての研修を軸に、入社直後の集合研修をはじめ、店舗配属後のOJTトレーナーによるOJT研修や年次ごとに必要となるスキルを学ぶフォローアップ研修等を通じて、人材育成に取り組んでまいります。

■ 薬剤師フォローアップ研修例



女性の活躍及び子育てを推進してまいります

当社グループの従業員に占める女性比率は80.1%であり、多くの女性が活躍する企業となっております。
2016年より「女性の活躍推進に関する行動計画」を策定し、女性管理職比率を現在の31.2%から引き上げることを目標とする等、今後も、女性の積極登用に向けて取り組んでまいります。合わせて、仕事と子育ての両立についても積極的に支援いたします。

■ 管理職の女性比率

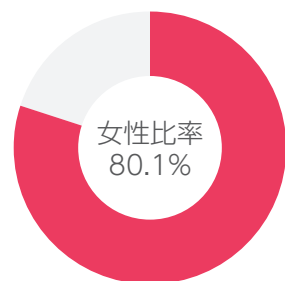
管理職（全体）	31.2%
取締役	21.6%
執行役員	29.2%

■ 産休・育休・育児短時間勤務取得者

産前産後休暇	342人
育児休業	503人
育児短時間勤務	686人

▶2019年4月期
▶管理職（全体）：本部の係長職以上及び薬局長、店長

■ 従業員の女性比率



■ 各種認定の取得



「えるぼし」認定
女性活躍推進法にもとづき
厚生労働大臣より最上位である
3段階目の認定を取得

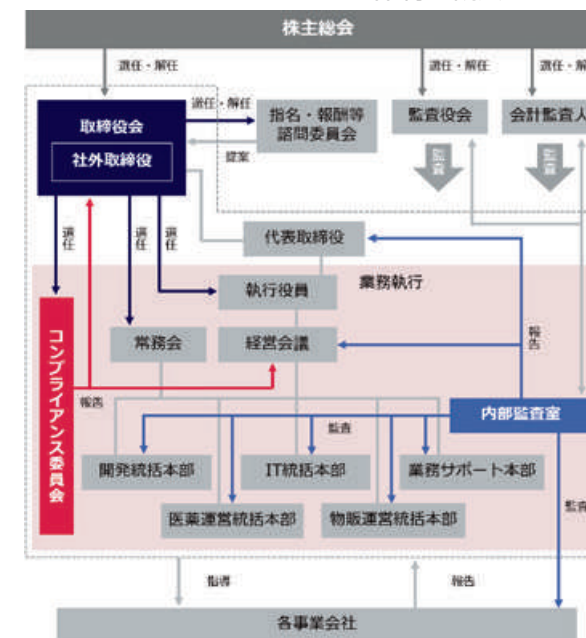
「くるみん」認定
子育てサポート企業として
厚生労働大臣の認定を取得



指名・報酬等諮問委員会を設置いたしました

当社グループは、ファーマシー事業及びリテール事業を主として展開しており、いずれも人々の健康を担う性質上、コンプライアンスを最重視した健全かつ透明な事業活動を継続することが不可欠と認識しております。
2019年4月開催の取締役会において、当社取締役会任意の諮問委員会である「指名・報酬等諮問委員会」の設置を決議いたしました。代表取締役、取締役、監査役及び執行役員（以下「役員等」）の指名及び報酬等について審議することにより、社外役員の知見及び助言を生かすとともに、役員等の指名及び報酬等の決定に関する手続の客観性、透明性を確保し、取締役会の監督機能を向上させ、コーポレート・ガバナンス機能のさらなる充実を図ってまいります。

■ コーポレート・ガバナンス体制の概要



働き方改革を推進してまいります

育児や介護との両立等働き方のニーズが多様化し、全国で働き方改革が推進されております。
当社グループにおいても2019年5月より、給与のベースアップをはじめ、さまざまな人事施策を実施しております。2020年4月には、新しく所定労働時間選択制を導入いたします。子育てが落ち着くまで、通常より期間を拡大し短時間勤務を希望する社員や、介護のため時間を調整して勤務を希望する社員等、働き方に柔軟に対応するとともに、それらに限らず、ライフスタイルに合わせた働き方をサポートいたします。

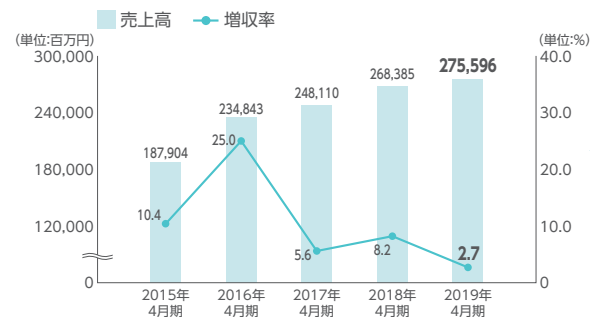


■ コーポレート・ガバナンスの状況

取締役数	12人(社外取締役4人を含む)
監査役数	3人(社外監査役2人を含む)
取締役会実施数	12回
社外取締役出席率	97.8%
監査役会実施数	12回
社外監査役出席率	100%
経営会議実施数	51回

▶2019年4月期

売上高 2,755億9千6百万円

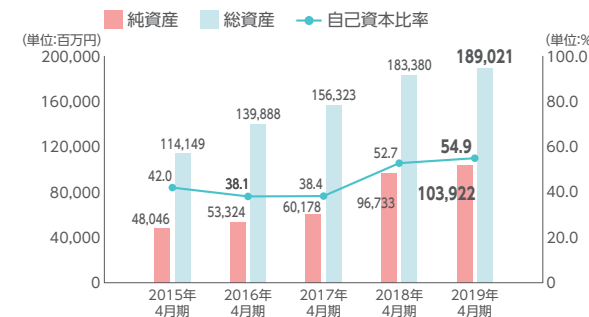


売上高
2.7%増

164店舗の新規出店により、19年連続増収を達成

M&Aを含む164店舗の新規出店及び運営効率化を目的とした55店舗の閉店により、売上高は前期比2.7%増と19年連続増収を達成しました。

純資産 / 総資産 / 自己資本比率



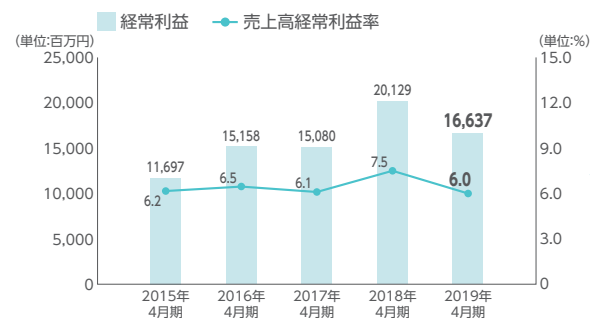
純資産
7.4%増

健全な財務体質を維持

純資産は前期比7.4%増、総資産は前期比3.1%増、自己資本比率は前期比2.2ポイント増となりました。依然として健全な財務体質を維持しています。

※2018年4月期以降の数値は、「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を適用しております。

経常利益 166億3千7百万円

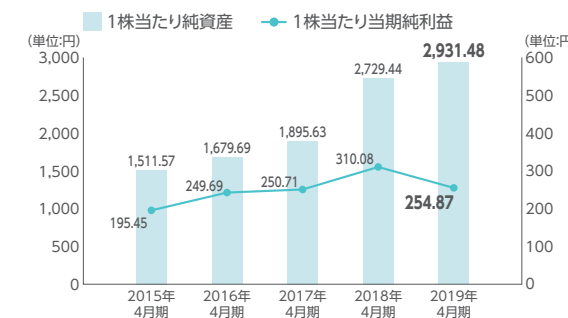


経常利益
17.3%減

診療報酬改定等の影響により、経常利益は17.3%減

リテール事業では既存店の伸長及びコスト低減により、2期連続黒字を達成したものの、ファーマシー事業における診療報酬改定の影響及び出店時期の遅れにより、経常利益は前期比17.3%の減益となりました。

1株当たり純資産 / 1株当たり当期純利益



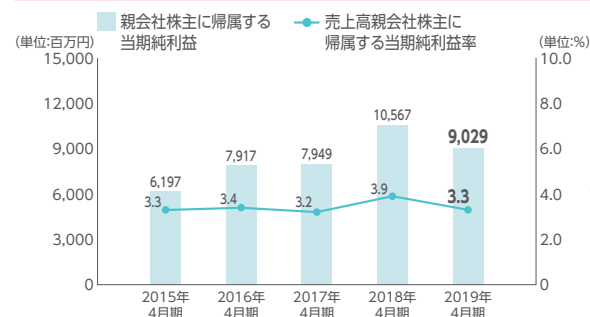
1株当たり純資産
7.4%増

経営安定性をより強固なものへ

1株当たり当期純利益は前期比17.8%減となったものの、1株当たり純資産は前期比7.4%増となり、高い経営安定性を維持しております。

※2015年4月期期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産及び1株当たり当期純利益を比較しております。

親会社株主に帰属する当期純利益 90億2千9百万円

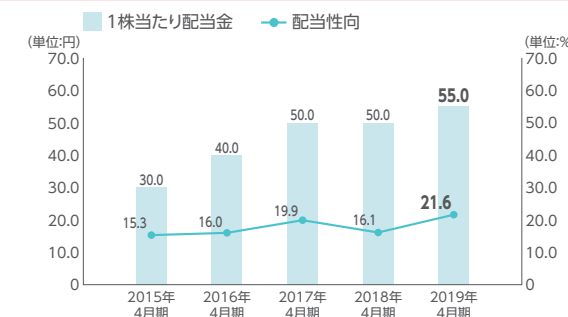


親会社株主に帰属する当期純利益
14.6%減

業務効率化やコスト見直しを推進、より一層の利益創出へ

親会社株主に帰属する当期純利益は前期比14.6%減となりました。今後も業務の効率化やコストの見直しを推進し、さらなる利益の確保を続けてまいります。

1株当たり配当金 / 配当性向

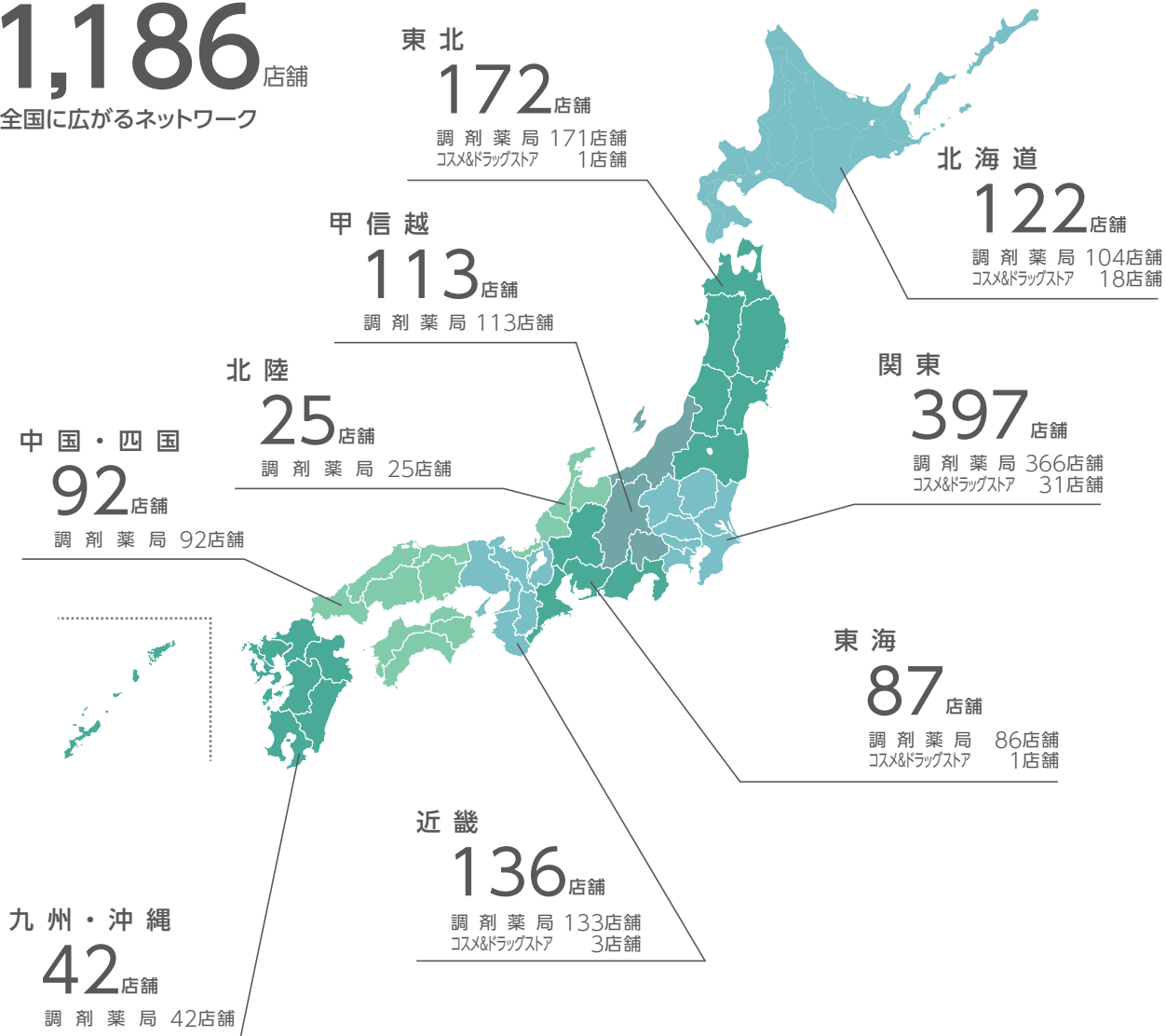


1株当たり配当金
55円

1株当たり配当金は55円へ増加

1株当たり配当金は前期より5円増の55円となり、配当性向は21.6%となりました。これからも継続的な企業成長により、株主の皆さまへの還元を行ってまいります。

アイングループ
1,186店舗
全国に広がるネットワーク



商号 株式会社アインホールディングス
本社 札幌市白石区東札幌5条2丁目4番30号
 TEL (011) 814-1000 (代表)
設立 1969年8月
資本金 218億9,497万円
従業員 10,652人 (パート含む) (グループ連結)
事業内容 調剤薬局・コスメ&ドラッグストアの経営、ジェネリック医薬品の卸売販売、化粧品の販売等、各事業を中心とした企業グループの企画・管理・運営

役員構成
 代表取締役社長 大谷 喜一
 代表取締役専務 櫻井 正人
 代表取締役専務 首藤 正一
 代表取締役専務 水島 利英
 常務取締役 大石 美也
 取締役 木明 理絵子
 取締役 淡路 英広
 取締役 酒井 雅人
 取締役(社外) 森 洸
 取締役(社外) 濱田 康行
 取締役(社外) 遠藤 典子
 取締役(社外) 伊藤 順朗
 常勤監査役 川村 幸一
 監査役(社外) 居林 彬
 監査役(社外) 村松 修

株式の状況

発行可能株式総数 44,000,000株
 発行済株式の総数 35,428,212株
 株主数 4,024名
 大株主(上位10名)

株主名	持株数		持株比率
	千株	%	
大谷 喜一	3,238	9.14	
株式会社セブン&アイ・ホールディングス	2,750	7.76	
ゴールドマンサックスインターナショナル	1,695	4.79	
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 丸紅口	1,594	4.50	
株式会社北海道銀行	1,472	4.15	
MSIP CLIENT SECURITIES	1,325	3.74	
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,133	3.20	
株式会社北洋銀行	1,085	3.06	
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	902	2.55	
農林中央金庫	600	1.69	

▶持株比率は自己株式(728株)を控除して計算しております。
 ▶みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 丸紅口の所有株式は、丸紅株式会社が退職給付信託として拠出したものです。

株 主 メ モ

事業年度	毎年5月1日から翌年4月30日まで
定時株主総会	毎年7月開催
基準日	毎年4月30日
配当金受領株主確定日	その他、必要がある場合は、あらかじめ公告して定めます。 毎年4月30日 なお、中間配当を実施する場合の中間配当金受領株主確定日は、10月31日です。
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更、単元未満株式の買取・買増等)		みずほ証券 本店及び全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店及び全国各支店
未払配当金のお支払	上記「特別口座の場合」のお取扱店に加え、みずほ銀行の本店及び全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります)	
ご 注 意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵送物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	<ul style="list-style-type: none"> ・株券電子化前に名義書換を失念し、お手元に他人名義の株券がある場合は、至急上記電話お問い合わせ先までご連絡ください。 ・特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。 ・みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続きをされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。

公 告 方 法 電子公告により行い、公告掲載場所は当社のホームページ(<https://www.ainj.co.jp/>)といたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。



UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。